



千地申 第13号 「第40回定期地本委員会の発言に基づく申し入れ」団体交渉を行う！その③

7. 2020年1月7日に発生した輸送混乱に対する見解と今後の改善に向けた対策を明らかにするとともに、以

下のとおり改善すること。

- ①輸送混乱時は早期復旧をめざして、乗務員統合詰所に責任者を配置し、指令室と各運輸職場との連携を強化すること。
- ②輸送混乱時に休養時間が確保できない場合については、安全を確保する観点から救済を行うこと。
- ③乗務員と指令員とのやり取りについては、返答がないなどの意見が多いことから、迅速な指示ができる体制を整えること。
- ④輸送混乱時の駅における入場規制の基準を明確化すること。
- ⑤乗務員の配属については、自宅から近い箇所とし、輸送混乱時に駆けつけることができる体制を整えること。
- ⑥輸送混乱の早期復旧をめざして、他支社の行路を含めた乗務員の調整を行うこと。

(主な会社回答)

- 乗務員詰所へ行路を操配する社員の派遣について、これまで、輸送混乱時には電話が掛けづらい実情があったが、乗務員が業務用携帯電話を持つことにより、直接携帯電話で指示が出せることから、派遣していない。
- 安全な運行を確保するために、要員が確保できれば救済を行う。
- NETRAINSは更新キーを一斉に押されるとダウンする。このことの周知が足りなかった。
- 千葉駅信号所が移転したばかりの過渡期であり、黒砂信号所の整理の仕方やNETRAINSの入力を教えていた段階での事象だったことから混乱した。そのような中で2つの事象が重なったためにダイヤ平復が困難になった。現在は取り扱いにも慣れていく状況である。
- 混雑時の入場規制についてはホームから人が転落する危険性を回避するために現場にて判断する。各駅にはホーム混雑時の対応マニュアルが作成されており、このマニュアルに則り対応する。
- 輸送混乱時に他支社の行路との差し替えは過去にも実績があり、今後もダイヤ平復に有効であれば行っていく。
- 今後の台風などの輸送混乱の対応に向け、訓練を重ねて指令のレベルアップを図っていく。



8. 育児・介護が両立できている職場から異動させる場合は、①相談・調整期②両立体制構築期③両立期という経過をたどってワークライフバランスを実現し、離職防止に努めること。

(主な会社回答)

- 木更津運輸区の事象について、本人の状況については相談を受けていたが、本人の職制や今後の活躍を考え、社員の育成の観点から異動を判断した。
- 異動について全て希望通りになるわけではないが、面談等で本人の希望や特情などをしっかり把握し、配慮する。

9. 車両関係の工事については上期と下期で業務量に差が出ることから、平準化を図ること。

(主な会社回答)

- 年間における工事量の平準化は今後も進めていく。
- 工事量の平準化を意識しつつも、物資の調達に上期にできないこともあることから、メーカーとの調整に努める。

10. 新たに貸与される制服には、汗を目立たせないような対策を施すこと。

(主な会社回答)

- 通気性は旧制服に比べて格段に上昇していると認識しているが、汗が目立つという意見が多く出ていることは把握している。
- 現在のところ、汗への対策は検討していない。



職場で発生する問題について会社と交渉し、改善できるのは労働組合しかありません！
今後も組合員の声を基に、安心して働ける職場環境を創り出していきます！